

し せ き び じ ゅ つ

史迹と美術

第九十四輯ノ五（第九四五号）

主要目次

日本庭園・石造美術あれこれ（十一）

「近代数寄者・高谷宗範の茶道観と庭園観」（下）

尼崎博正

画論研究3

『画筌』の研究―現代語訳付―（十五）寺本健三



945号

し せ き び じ ゅ つ どう こう かい
史 迹 美 術 同 攷 会

目 次

日本庭園・石造美術あれこれ (十一)

「近代数寄者・高谷宗範の茶道観と庭園観」(下)

..... 尼崎博正...一四六

画論研究3

『画筌』の研究―現代語訳付― (十五) 寺本健三...一六五

第一一八回例会 京都市役所周辺の文化財を訪ねる

..... 加藤友規...一七七

第一一九回例会 柏原宿と清瀧寺の文化財を訪ねる

..... 吉村龍二...一八一

会告 十月一泊例会予告 一八四

表紙カットは「正応寺板碑(横浜市港南区野庭町)」

(嘉津山清氏採拓)

前号主要目次

日本庭園・石造美術あれこれ (十一)

「近代数寄者・高谷宗範の茶道観と庭園観」(上) 尼崎博正

藤原道長と高野山―逆修の本来の意味― 木下 浩良

次号内容予定

いわゆる「国指定史跡 宇治川太閤堤跡」について―観光資源としての「史跡」の危うさ― 加藤 繁生

ほか

お知らせ

○新入会員

氏名 住所 紹介者

清水真弓 大阪府泉大津市 品角阿止美

○理事・監事会開催

七月十四日の七月例会終了後、「京都烏丸レンタル会議室 DEAR 四条」で理事・監事会を開催しました。今後の例会や会誌のこと等について協議しました。

〔出席者〕 尼崎博正、加藤繁生、加藤友規、品角阿止美、田中康夫、中尾純子、野崎小百合、八田洋子、丸山 貞（以上九名）

編集後記 編集子

☆ 五月から会誌も隔月になり、例会案内と例会予告を合わせて三回分載せるようになりました。今号も八月、九月例会の案内および十月の一泊例会の予告を載せております。また、HPも月二回くらいは更新しておりますので、そちらでもご確認ください。

☆ 六月の例会は愛知の三河安城を訪問しました。水野、野崎の両幹事の差配のもと、短時間にいろいろな場所

を訪問することができ、とても充実した例会となりました。両幹事に感謝いたします。

☆ また、六月下旬は石造美術勉強会で倉敷を訪問しました。岡山は丸山会長の出身地ということもあり、詳しいご説明をいただきました。いつも勉強会を企画してくださる品角監事ともども、お礼を申し上げます。

☆ 五月の徳島例会から遠方へ行く機会が続いておりますが、十月にはいよいよ高野山での一泊例会が予定されています。高野山を知り尽くした木下浩良さんにご案内いただけるなんて、そうそうない機会ですので、是非とも参加をご検討ください。

☆ 今年も猛暑の予報です。暑いときはエアコンを適切に使用して涼を取って下さい。残念ながら、日本の夏はもはや風鈴ではなんともなりませんので。



(田中)

令和六年（二〇二四）七月二十八日発行

一冊 定価一、二〇〇円（本体 一、〇一八円）
税 一、〇二二円

◎年間会費（年七冊）七、〇〇〇円

本会宛にお払込みください。直接送本いたしません。

発行者 丸山 貞
編集担当 矢ヶ崎 善太郎
田中 康夫

発行所 史迹美術同攷会

印刷所

株式会社 春日